

令和3年度第1回学校給食センター運営委員会 会議録

1 日時

令和4年2月21日(月)9時30分～11時

2 場所

東部学校給食センター食堂

3 出席者

瀧澤委員、青山委員、大和委員、山本委員、御小柴委員、滝澤委員、神山委員、泉田委員、黒坂委員、水上委員、塚田委員、須澤委員、中嶋委員

※ 塚田委員は、代理者が出席

4 事務局

藤森教育部長、三代澤学校給食課長、牧羽課長補佐、三沢課長補佐、塩原課長補佐、鳥羽課長補佐、山田栄養教諭

5 会議の概要

(1) 開会

(2) 教育部長あいさつ

(3) 松本市の学校給食センターについて

給食センター紹介 DVD(15分)視聴

(4) 報告事項

(ア) 松本市学校給食センター再整備について

検討の経過と今後の進め方について説明。以下の質疑応答があった。

(委員) ゼロベースに立ち返りというのは、どこまでゼロにするか。

(課長) 今まで庁内で検討し「市内に大きなセンターを3つ造る」ということで進んで来たものを一旦ご破算にして、大規模、小規模、自校給食まで含めて検討し直すこと。

(委員) PFI 可能性調査とは。

(課長) 外部委託というか、任せることは可能か調査すること。今は直営で市の職員が全部担当しているが、それを仮に外部に任せるか市のルールで調査するもの

(委員) 波田・梓川が老朽化しているということで色々検討しているとのことだが今後の進め方というところで、どのような計画を策定しているかのスケジュール的なことを知りたい。

(課長) 令和9年くらい。波田・梓川については待ったなしの状況なので、早く進めたい。地元や学校関係者、PTAの意見をしっかり聞いていく。

(委員) 資料はたくさんあるが、どういったポイントで考えればいいのか、もう少し絞った説明をして頂けたら意見も出しやすい。今後、地域や学校関係者に説明する機会があるということなので、どういうポイントで協力するか検討資料を展開してほしい。

(委員) 以前センターで栄養士をしていたが、色々検討して頂きありがたい。25年前の給食は「人間の食べるものではない。」とまで言われたことがあるが、とても色々な改善をして頑張ってきた。自校給食校からセンター給食校に異動する先生は、自校が良いと言うのが本音。センター再整備も大事だが日常業務もぜひよろしくお願ひしたい。

(5) 閉会